

名作とコラボしよう！

俊明さんの

《龍虎図屏風》

体験講座

講師：永吉秀司

みなとまち新潟の

芸と風土

発掘・体験プロジェクト
―近世から現代まで―

新潟大学が
やります。

プロジェクションマッピングの技術を応用して、日本の伝統的な描画技法や道具の用法を楽しみながら、新潟大学の教育学部美術科の学生たちと共に、雲の形をした半立体スクリーンを制作します。そこに、五十嵐俊明作《龍虎図屏風》（彌彦神社所蔵）を投影し、新たな創造空間として参加者みなで《龍虎図屏風》を甦らせます。

2023
9/23(土)13:00-15:00

場所：ゆいぽーと 参加定員：20名（先着順）

参加申込



主催：みなとまち新潟の芸と風土 発掘・体験プロジェクト実行委員会
共催：新潟大学・新潟市 協力：ゆいぽーと（新潟市芸術創造村・国際青少年センター）・新潟市歴史博物館
お問合せ：みなとまち新潟の芸と風土 発掘・体験プロジェクト実行委員会事務局（新潟大学旭町学術資料展示館）
TEL：025-227-2260



五十嵐俊明作《龍虎図屏風》(彌彦神社所蔵)
画像提供：新潟市歴史博物館 撮影：坂口綱男

「みなとまち新潟の芸と風土 発掘・体験プロジェクト」市民講座

プロジェクションマッピングで名作とコラボしよう！

「みなとまち新潟の芸と風土 発掘・体験プロジェクト」(会期：2023年10月25日～11月26日)は新潟大学旭町学術資料展示館が核となり、近世から現代まで新潟地域に眠っていた芸術作品を発掘し、連携する近隣の博物館、異人池の会(西大畑旭町文化施設協議会)の各施設、寺院、そして飲食施設等にて展示し、市民に体験して頂くプロジェクトです。これを通じて、「地域全体がそのままミュージアム」となることを目指します。

本講座はこのプロジェクトの一環として、各施設での展示に先駆けて開催するものです。日本の伝統的な技法や描画道具の用法を楽しみながら、新潟大学の教育学部美術科の学生たちと共に、雲の形をした半立体スクリーンを制作し、プロジェクションマッピングの技術を応用して、参加者が主体となって新たな創造空間として五十嵐俊明作《龍虎図屏風》(彌彦神社所蔵)をスクリーンに甦らせるワークショップです。VR体験のような鑑賞ができる屏風絵の表現を現代の視点でアレンジし、作家の気持ちになって体験しましょう。

- 開催日時 2023/9/23(土) 13:00 ~ 15:00
参加定員 20名(先着順)申込締切 9/20(水)
参加費用 無料
準備する物 汚れても良い服装。エプロンなど(墨を使用します。)
場所 〒951-8102 新潟県新潟市中央区二葉町2丁目 5932 番地 7
ゆいぽーと(工房・ギャラリー&クリエイティブルーム1)
※駐車場の台数に限りがございます。お越しの際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 参加方法 ①参加申込フォーム(右QRコードより)
②電話(下記お問合せまで)
- お問合せ みなとまち新潟の芸と風土 発掘・体験プロジェクト実行委員会事務局
(新潟大学旭町学術資料展示館) TEL: 025-227-2260

五十嵐俊明(いからし しゅんめい)

1700(元禄13)年～1781(天明)元年
江戸時代の絵師。新潟町に生まれ、江戸や京都にて絵画や朱子学を学んだ。40代半ばに新潟に戻って引き続き絵筆を振るうとともに、後進の育成にも努めた。中央画壇でも活躍した近世の新潟を代表する画人。



講師：永吉秀司

新潟大学教育学部准教授
新潟県美術家連盟常務理事
公益財団法人日本美術院特待
同院地域連携教育普及プログラム委員

スタッフ

教育学部学校教員養成課程(教科教育)2年
池田穂乃香・小澤康太・松島咲月・筒井日向・
平井有佳・江間一誓・望月陽菜



参加申し込みはこちら



令和5年度 文化庁 Innovate Museum 事業



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。